

“コロナ禍後の一日でも早い安心した生活を期待！！”

会員の皆様へ！

支部長 松木 茂夫



松木支部長

緊急事態宣言が10月24日に解除されましたが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

世の中は少しずつ動き出しましたが、まだ日本全体がコロナ恐怖の呪縛に縛られており、通常の生活に戻るには当分先になるかなと思われます。

感染拡大防止策の徹底と社会経済活動の両立が叫ばれている中、ウイズ・コロナ時代への新しい生き方を模索している政府と企業、そして、我々一人一人がコロナ禍と向き合いながら行動していくことが益々必要となってきました。

ウイルスそのものが収束するわけではないため「三つの密」を避け、感染症対策分化会が明示した感染が広がりやすい「高リスクの五場面」を守りつつ、感染するリスクの軽減に心掛けていきたいと思っています。

年末懇親会昨年に引き続き中止を決定！！

さて、恒例となっている12月11日（土）第二土曜日開催予定の年末懇親会は、役員会に於いて検討した結果、冬季に向かって第6波も懸念され、またインフルエンザの猛威も予想されている状況下、大人数での飲食を伴う宴会等は、安全面で不安があり、会員皆様が楽しく・安心して参加できる状況にないと判断して、誠に残念ですが開催を中止することと致しました。

支部活動は会報発行・HP掲載のみ！！

昨年引続き、今年の支部活動は役員会・各種行事等の支部活動を全て中止としました。参加者の安全と安心を最優先で考えての苦渋の決断でした。役員会は原則メール・Fax等対面を避けての実施でした。会報発行は2020年6月（第30号）・2020年11月（第31号）・2021年6月（第32号）・2021年11月 発行予定（第33号）・HPの随時メンテナンス等を実施しました。会報発行に際し、森山功相談役には会報の構成・岩淵義昭事務局長には印刷と発送作業をお願いし、ご苦勞をおかけしましたが無事皆様方にお届け

することが出来ました。引き続き、会員皆様方の積極的な原稿の寄稿をお願い致します。大石克嘉副幹事長にはHP掲載等ご協力に御礼申し上げます。

尚、決算状況は会報に関連する費用の支出が中心となります。

第30回ホームカミングデー

オンラインで開催！！

毎年開催されているホームカミングデーは、初めてのオンライン開催を基本として2021年11月21日（日）に開催。企画の概要については学員時報第516号・大学公式Webを参照願います。

2021年度の活動予定について！！

収束状況が不透明なため未定。来年度以降の役員会・総会・懇親会・各種行事等は参加者の安心・安全を考慮し慎重に検討していきたいと考えています。

活動計画（2022/1月～12月）！！

①箱根駅伝応援（1/2・1/3）②総会・学術講演会・懇親会（6/11（土）第2土曜日/精養軒）③年末懇親会（12/10（土）第2土曜日/精養軒）④ハイキング等の各種行事④県内各支部・白門会との交流懇親会等々・・・

お会いできる日を楽しみにしています！！

幸いなことに当支部会員から新型コロナウイルスに感染されたとの報告はありませんが、見えないウイルスとの闘い油断は禁物です。

国産で供給に不安のない安全で安心な飲み薬等の治療薬やワクチンが普及しコロナが収束することを心から期待したいと思います。また、新しい生活様式の定着の為、私達自身に大胆な意識改革も必要となりました。

自粛生活もそろそろ2年になりますが、今年はインフルエンザの猛威も予想されており体調を崩さないように十二分に健康にご留意され、元氣でお会いできる日を楽しみにしております。

箱根駅伝立川予選会第2位で通過・本戦出場へ！！

第98回箱根駅伝は10月23日（土）（東京箱根間往復大学駅伝競走）強風の中、陸上自衛隊立川駐屯内を周回するハーフマラソンのコースで41校が参加して行われた。各校10人の合計タイムで上位10校が予選を通過した。（無観客で実施）中大は順当に第2位で通過（10：37：38）、2年生エース吉居大和選手の粘り強い走りがチームを引っ張った。（終盤両ふくらはぎに痙攣があったが）来年1月2日・3日の沿道での応援は関東学連からの自粛要請があり、残念ながら本年同様テレビ観戦で応援しましょう。

ご参考

(1) 第98回予選会総合成績上位10校（時：分：秒）

① 明大（10：33：22）② 中大（10：37：38）③ 日体大（10：39：32）④ 山梨学院大（10：41：15）⑤ 神奈川大（10：41：57）⑥ 法大（10：42：12）⑦ 中央学院大

（10：43：08）⑧ 駿河台大（10：44：47）⑨ 専大（10：44：58）⑩ 国士舘大（10：45：41）

(2) シード校（前回第97回総合成績順）

① 駒大② 創価大③ 東洋大④ 青学大⑤ 東海大⑥ 早大⑦ 順大⑧ 帝京大⑨ 国学院大⑩ 東京国際大



二位で予選を通過

“コロナ禍の巣ごもり生活”

コロナウイルス感染症が発生し2年目に入り、収束状況が全く不透明な中、私の生活環境はがらりと変わりました、皆様いかがお過ごしでしょうか。コミュニケーションがいかに重要かを痛感しています。

週2～3回外出していた私の日常は、まさに城山三郎の小説・毎日が日曜日の連続です。会議・行事等がすべて中止・延期となり、会議はオンライン・書面審議が中心です。

何となくだらだらした一日を過ごしていましたが、ある時をきっかけに、一念発起し、生活環境をがらりと変えました。それは人生100年を目指すためには何よりも健康第一と考え規則正しい生活を心掛けるようにしました

早寝・早起きの励行（朝4時起床

・21時就寝）・起床後に体重・体脂肪・血圧・体温・血中酸素濃度等を測定、朝食後・テレビ・新聞でニュース・天気予報・（どこのチャンネルもコロナ・コロナばかりであるが）を見て、運動不足解消のため、毎日1.5～2万歩歩くことを目標に実行している。お陰様で、メタボから解消され、体重は66Kg・腹囲82cm・血圧も年齢相応・血糖値も水準を維持できている。アルコール量も意識的に減らし健康的な生活で過ごしている。

7月は運転免許の更新時期であるが、年齢（75歳）により認知症検査の受検が必要となった、認知症検査で大変だったのは「手掛かり再生」で16枚のイラストを5分程度見せられ、暫くたってから、16枚のイラストの内、記憶しているイラストを最低10枚以上回答する事であった。最

近物覚えが悪くなっており、心配したが何とかクリアできほっとした。

コロナの影響により、免許更新するには約10か月間かかることが判明した（誕生日を過ぎてしまう為警察に期限延長手続きが必要）。

パソコンが故障した為、通信販売で買換え、悪銭苦闘してネット接続やアドレス登録するなど初めての経験をした、等々今迄では考えられないような毎日である。

一日でも早くワクチン接種が終了し、安心・安全な日常生活が来るのを待ち遠しく思う。

元気に皆様と会える日を楽しみにしています。

（記：松木茂夫10/1）

中央大学「川崎支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します（卒年順に掲載）

アイコンテクノ（株） （町田市森野1-37-10） 代表取締役会長 金子 和夫 （昭和34年卒）	東京エクセル法律事務所 弁護士 石渡 光一 （昭和36年卒） 電話03-3503-0921	オフィスI9 人生100年 皆様囲碁をどうぞ （044-932-1035） 酒巻 忠雄（昭和39年卒）
NPO自転車環境創造ネットワーク （東京都港区芝大門2-1-18） 理事長 森山 功 （昭和40年卒）	光洋重機建設（株） （川崎市田島町13-13） 代表取締役 光常 武二 （昭和43年卒）	協親自動車（株）顧問 川崎市高津区北見方3-8-5 松木 茂夫（昭和44年卒） 中央大学評議員・学会会常任幹事

“白門りんごの会” 収穫体験&桜植樹式

コロナで今年度も中止！！

2021年9月実施予定の「りんご収穫体験&友好の桜植樹式&東日本大震災復興状況視察」は、近時、変異株コロナウイルスが予想を上回るスピードで国内に蔓延してきています。変異株は、感染力が強く、高齢者のみならず、若い人への重症化リスクも非常に高くなっています。感染状況の収束が全く不透明な中、冬の到来を待たずに、感染再拡大がいつ起きてもおかしくない状況が十分予測されています。頼りの高齢者向けのワクチン接種も遅れ気味である。そして、オリンピックが無事終了することを祈るばかりです。

新生活様式に移行したが「三密

状態」は避けられない、(換気・距離をあけて・マスク着用・手洗いの励行・大皿料理から個別料理へ・対面不可・マスク外食等)長時間の新幹線・観光バス移動等感染リスクは避けられない。通常的生活様式にいつ戻れるのかも不透



Tasuki タスキ (中央大学理工学部開発) を装着してリンゴの選定作業

明である等の状況により、参加者が心配しながらではなく、安心して・気兼ねなく・楽しみながら安全に参加できることを最優先とし

て考え、苦渋の選択ではあります。が、昨年度に引続き今年度も中止を決定いたしました。

尚、りんごの会発足10周年記念の「友好の桜」植樹については、植樹場所の城山公園内(県南有数の桜の名所)には戦国時代に南部氏の居城が築かれており、歴史的に貴重な当時の石垣遺構等が発掘されたため、城山公園の国史跡指定を申請することになり、友好の桜植樹は史跡保存活用計画策定後になる事になりました。残念ではありますが、植樹式ができる迄の暫くの間、三戸町が管理運営保管して頂くこととなりました。

皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。元気でおいでできる日までお互いに健康第一で頑張りましょう！！(三戸町松尾町長のご挨拶文・桜・記念碑の写真を参照願います) (記：松木茂夫)

白門りんごの会殿 三戸町長 松尾 和彦

拝啓 新緑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度は、東日本大震災復興支援活動10年を迎えるにあたり、友好の桜として、八重紅枝垂れ桜の苗木のご寄附を賜り、誠にありがとうございます。

植樹場所となる城山公園については、県南有数の桜の名所として知られております。城山公園内には戦国時代に南部氏の居城が築かれており、歴史的に貴重な当時の石垣遺構が発掘されております。町の宝である城山公園を後世に残すべく三戸町の悲願である国史跡



友好の桜と松尾町長&11ぴきのねこ
(城山公園仮移設場所にて 令和3年4月20日)

指定に向けて邁進しているところであります。

皆様には、ご迷惑をおかけすることとなりますが、ご寄附いただきました「友好の桜」につつまし

ては、さんのへ城山公園の国史跡指定及び史跡保存活用計画策定後となりますが、友好の証として植樹させていただきます。

また、植樹式につきましては、実際に植樹できる日まで見合わせとさせていただきます。それまでの間、友好の桜・記念碑は三戸町が責任を持って保管いたします。

末筆ながら、今後ますますのご健勝をお祈り申し上げ、取り急ぎ書面をもちましてお礼申し上げます。 敬具

- 第一生命保険から恒例となっているサラーリーマン川柳が発表された。コロナ禍で浸透したテレワークに関連する川柳が上位であった
- 第一位 「会社へは 来るなと上司と妻」 ↓テレワークの苦悩 行け
- 第二位 「十万円 見ることもなく妻のもの」 ↓切実な思い 妻の
- 第三位 「リモートで 便利な言葉 聞こえませんか！」 ↓新たな発見 聞こ
- その他 生活関連に関する川柳も多かった
- 「お父さん マスクも会話もよくずれる」
- 「お若いと 言われマスクを外せない」
- 「抱き上げた 孫が一言 密です」

酒巻忠雄の囲碁クイズ解答(問題は4面)

①黒1, 3で白死にです

②イ 2000年杉内雅男九段(95歳)と大西竜平初段(15歳)が対局した80歳差。ちなみに第2位は今年対戦した杉内令夫人・寿子八段(94歳)と福岡航太郎二段(15歳)の79歳差でした。

■ 川崎の発展を考える会

9月19日川崎市中原区上小田中の花菱ビルで市長候補の福田紀彦氏の事務所開きが開催された。川崎と共に歩むかわさき白門会を代表して金子和夫、千葉五郎、森山功、岩淵義昭氏の4名が参加した。また「川崎の発展を考える会」の顧問斎藤文夫氏から丁重なメッセージを頂戴した。（記：森山功）

【当選御礼】 市長 福田 紀彦
昨日の川崎市長選挙において多くのご支援をいただき、3期目の当選を果たすことが出来ました。コロナ禍であることから、公務を優先し限られた時間と方法の選挙となりましたが、前回は上回る市政の歴史で最多得票となる46万5958票のご支援を賜りまし

た。心から感謝申し上げます。市制100周年を跨ぐ今期、今後も持続可能な川崎市の未来を実行していきます。身近な



3選を果たし祝福を受ける福田市長

暮らしの課題にも、将来を見据えた全国モデルとなる大きな挑戦にも、これからも全力で取り組んでまいります。誠に有難うございました。

風格のある街・川崎の建設に期待

斎藤 文夫

川崎市長 福田紀彦氏を応援する「川崎の発展を考える会」で森山さんとお会いし、はからずも「かわさき白門」に寄稿させて頂く光栄に浴しました。厚く御礼申し上げます。



市議会議員 橋本勝氏、副議長 織田勝久氏が、又筆頭副市長の伊藤弘氏が中央大学ご出身と承り、改めて中央大学ご出身の方々154万川崎市民の先頭に立って、行政も市議会も運営されていることを承知いたし、すばらしい事と敬服いたしました。

川崎市は大正13年、川崎町・大師町・御幸村4万8千余人で発足し、3年後には市制100周年を迎えます。

戦前は、明治以来産業誘致を町是として努力し、昭和に入り工業都市として、全国から多くの人が集まり、戦争で焼土と化した中から、力強く立ち上がり、日本を代表する工業都市として発展、産業公害

に苦しみました。企業・行政の努力で公害を克服し、世界的な各種研究機関の集積された近代産業都市に生まれ変わりました。

一方、世界的な家電メーカーや精密機械工業が海外へ移転した結果、私が預かる「川崎の港」は、市営70周年を迎えて順調に発展し、近々川崎経済の1/2を港の輸出入で賄う時代が到来します。

東京・横浜の狭間の都市とは言え、現在人口154万人、全国六大都市の一角を占め、しかも大都市中、犯罪やごみの排出量が最も少ない都市であり、特にプラスチックのリサイクルは、世界に誇れる技術を持つに至りました。

21世紀の川崎は、白門会出身のリーダーにより、産業文化の調和した住んで誇りに思える、風格ある街にして頂きたいと期待しています。

（川崎市観光協会会長・川崎港振興協会会長・元参議院議員）

※編集部注：川崎で“大川崎祭り”を成功させるなど「観光都市かわさき」づくりに情熱を傾ける。また福田市政を支える「川崎の発展を考える会」の顧問として陣頭指揮、川崎を愛する94歳の青年であり、熱血漢である。

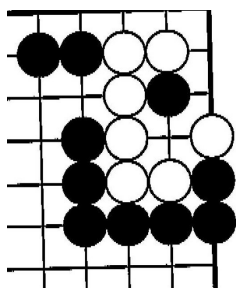
また県議会議員5期、参議院議員2期務めた政治家でもある。



◆日華友好会便り◆ 日華友好会では創立20周年を記念して重厚な冊子を発刊、これを寄贈した台湾國立中正紀念堂から丁重な「この度は、貴会20周年誌と記念品をいただき、ご厚情に心からお礼申し上げます。いつもお心配りいただき、深く感謝しております。コロナの影響を受け、さまざまな行事が中止や延期されていますが、中正紀念堂では、平年より美しく咲いた桜のおかげで、訪れた人々の心が癒されました。」とお礼を頂戴いたしました。※日華友好会には松木支部長、金子名誉会長等多くの方が参加しています。ご連絡は松木茂夫迄

出題図

酒巻忠雄の囲碁クイズ



《囲碁出題》

黒番です。白を殺す手は？

《囲碁・クイズ》

プロ棋士の公式対局で、最高年齢差の記録は何歳でしょうか？

- イ) 80歳差 ロ) 70歳差
ハ) 60歳差

出題者～酒巻 忠雄（八段）昭和39年卒 解答は3面）

川崎市議会 議長・副議長に

中央大学出身者が同時に就任！！

議長には橋本勝氏（平成10年経済学部卒業：当支部会員・参与）・副議長には織田勝久氏（昭和62年法学部卒業：同・参与）が同時に就任されました。中央大学出身者の議長・副議長への同時就任は、川崎市議会史上初めてとの事であります。

又、同出身者の議長への就任は、今回の橋本勝氏が初

めてとなりました。

コロナ禍の中、暗いニュースばかりでありましたが、久々に明るいニュースであり、中央大学・当川崎支部にとっても大変名誉なことでもあります。支部を代表して心よりお喜び申し上げますとともにお二方の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

橋本勝議長・織田勝久副議長に就任のご挨拶をお願い致しましたので掲載させていただきます。

（記：支部長 松木茂夫）

市議会議長就任のご報告 川崎市議会 議長 橋本 勝（川崎支部 参与）



川崎白門会の皆様には、愈々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私事ではありますが、去る令和3年5月31日の市議会本会議におきまして議長選挙が行われ、小生が第43代川崎市議会議長に選出されました。伝統ある

川崎市議会の議長職を拝命させていただきますことは、身に余る光栄と存ずることと同時にその責任たるや重大と、身の引き締まる思いでもあります。

議会は二代表制の下、市政運営上の意思決定機関として位置付けられており、地域における多種多様な考えを取り上げ、それらを審議し政策として示していくことや、市長をはじめとする執行機関による行政運営が適正であるかどうか、その有効性を評価・チェックする機能を有していることから、住民の代表機関として果たすべき役割は益々重要となって参ります。

現下の社会情勢においては、コロナ感染症対策が最

も重要であることは論を待ちません。医療体制整備や希望する方々へのワクチン接種など、様々な対策を前に進めて行くことと同時に、市民ニーズを的確に把握しながら必要な行政サービスが提供されるよう取組んでいかなければなりません。

また、川崎市は本年市制97年を迎えました。人口約5万人で始まった川崎市ですが、時代を経て現在は約154万人という大都市へと発展して参りました。私は、議長就任挨拶において中国の春秋時代における「世々其の美を濟す」故事成句を紹介しました。これは先人達の美德や善行を受け継いでゆくという意味が込められているそうです。間もなく100年を迎えようとしている川崎市が、今日までの歴史や伝統を大切にしながらも、市制100周年のその先へ、新たな時代を見据え成長していける自治体であることが求められています。

引き続き自覚と責任を噛みしめながら職責を果たして参りますので、皆様方の更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。市議会議長就任の報告とさせていただきます。（平成10年 経済学部卒業）

学生時代を回顧する 川崎市議会 副議長 織田勝久（川崎支部 参与）



川崎支部の皆さん、こんにちは。5月31日付で川崎市議会副議長に選任をいただきました。同日に議長に選任された橋本勝議員と正副議長揃って白門出身であります。とても不思議なご縁を感じているところです。

さて、このたび、松木支部長から就任に際しての「抱負」の寄稿依頼がありましたので、ご好意を頂戴いたしました。そこで、今の仕事と学生時代とのかわりについて振り返りながら、併せて、私の抱負もご理解を願う機会とさせていただきます。

私は、学生時代に学んだ「都市政策」と「地方自治」の視点を常に意識しながら、議会活動を続けてまいりました。また、政治姿勢としての座右の銘は「知行合一」であります。これは実行の伴わない知識を批判する陽明学の命題が出典です。

この問題意識のきっかけは、学生時代の恩師との出会いにあります。「政治学原論」「都市政策」「地方自治」を専門とされた故大原光憲教授であります。

私は、入学に際して「実効性のある政治」を学ぶことを期待していたのですが、授業を聴講してもいっこうに興味を惹かれませんでした。

さっぱり熱意を感じないマンネリで現実味のない授業の連続。ここに身をおいても何ら得るものはないと、そこは若気のいたりで早々に高を括り、授業をさぼっての読書三昧の日々を過ごしておりました。

たまたま3年次、専門ゼミを選択する折に「ゼミの運営は学生の自主性に任ず、出席は問わない、論文の評価で単位を与える」「就職の面倒はみない」などの評判を耳にした大原先生のプレゼミに、大した期待もせず顔を出したのです。

はじめに先生曰く「大学から学問を与えてもらおうと思ふな、自分で学べ」「本当の学問を甘く見るな」「大学で学んだことは、学んだ責任として社会に活かせ」

もう40年近くも昔のことですが、いまでもその時の衝撃を鮮明に記憶しています。まさに惰眠をむさぼっていたダメ学生に鉄槌が下された瞬間でした。

当時先生は、市民により近い行政である基礎自治体が政策力を蓄積し、中央集権の国策を全国で一律に網をかけるのではなく、自治体ごとに特色のある市民本位の自治体運営のあり方を模索しておられました。地方自治の確立であります。実際に大学から外に出て、東京三多摩地区の複数の自治体において、行政と連携した市民自治の実験などを試行されておりました。研究者、教育者としての社会への責任のあり方を常に自覚され、実践されていたのでした。

先生には「学問（知識）と実践」は政治活動の両輪。問題解決の伴わない政治活動は、市民の付託に応える政治ではない。以上のように、私は自身の政治姿勢の基本を学ばせていただいたと今でも深く感謝しております。そしてこの恩師から、当時親交のあったある社会党の代議士を紹介されたことが、政治の世界に入る具体的なきっかけとなり、私の現在があるのです。（昭和62年 法学部政治学科卒）

第1回 中央大学学員荣誉賞 中村憲剛夫妻に決まる

▼中央大学時代の中村憲剛さん。大学時代に会った奥様にはいまでも「常に有り難うと言います」

初の中央大学学員荣誉賞に、中村憲剛夫妻が選ばれた。夫妻は中央大学時代に出会い、憲剛さんは最終学年で主将を務めサッカー部を関東大学リーグ1部昇格に導いた。その後着々とプロサッカー選手の道を歩み、川崎フロンターレ一筋18年、2017年にはクラブ初のJリーグ優勝に貢献、36歳50日でJリーグMVPに輝き、ギネス世界記録に認定されている。2019シーズン左膝の前十字靭帯損傷という大ケガを負うが、険しいリハビリを経て2020シーズン10カ月ぶりの復帰戦でシーズン初得点、40歳の誕生日にもゴールを決め翌日に惜しまれながら引退を表明。チームをJ1史上最速3回もの優勝に導くラストシーズンを夫妻は懸命に駆け抜けた。以下、受賞の喜びの声を聞いた。

——受賞おめでとうございます。

ありがとうございます。これまでも賞をいただいた経験はありましたが、今回は夫婦での受賞ということで少し驚きました。ただ、妻がいなかったら間違いなく今の自分はなかったので、その意味では腑に落ちるものがあります。

——奥様とは大学時代に出会ったそうです。

3年生の時、サッカー部が52年ぶりに関東大学リーグの2部に降格する一大事があり、新チームで僕がキャプテンに指名されたんです。そこで1部復帰を果たすために、下級生の役割・仕事を減らして部員全員がサッカーに集中できる環境を作ろうということになり、創部以来初めてマネージャーを募集しました。そこで入ってきたマネージャーの一人が妻だったんです。

——奥様と出会ってから中村さんの人生も好転したとお話されていますね。

出会って1年で1部復帰を達成し、Jリーガーにもなれました。さらにW杯に出場して、Jリーグの優勝を含め5つのタイトルを取って引退することができました。40歳までプレーできたのも妻の支えがあったからこそ。僕以上に僕のことを分かっているので、引退も彼女と相談して決めました。

——サッカー界では10代でプロ入りする選手も多く、なかには海外のクラブに移籍した例もあります。なぜ大学に進学したのでしょうか。

僕は高卒の時点でプロ入りを考えるような選手ではなかった。大学でも最初はレベルの違いに圧倒され、ついていけなくても必死だったんです。

——そこからどうやってプロ選手へと成長していったのでしょうか。



僕の一番の武器は考える力。体が小さく、身体能力も高くなかったので、子どもの頃からどうすれば自分のプレーが通用するのか、チームの目指すサッカーに適應するのか、常に考えて練習していました。大学では高校までのように指導者の管理下で一斉練習をするわけではなく、ある程度自主性が尊重される。授業に出て練習を休むのも、空いた時間で個人練習をするのも自由。だから考える力がさらに磨かれたように思います。中央大学で過ごした4年間というのは遠回りだったわけではありません。妻にも出会うことができました、人生において、なくてはならない時間でした。

——引退後も積極的に活動されています。今後の抱負をお聞かせください。

現在は主に育成年代のコーチや解説者の仕事をしていますが、まだ具体的には何も決めていません。自分の可能性を限定せず、いろんなことにチャレンジしていければと思います。

※中央大学学員時報第515号(2021年・令和3年7月号)に掲載記事から引用

■事務局便り

▼10月30日(土)陸上自衛隊立川駐屯地で箱根駅伝予選会が開催され中央大学は2位にて本出場を果たすことができました。2日は中央郵便局前3日は稲毛神社前にて応援を予定しておりましたが関東学連の会長よりコロ

ナ対策のため明年も応援の自粛要請がありましたのでテレビ観戦で母校の応援をお願い致します。母校の健闘を祈りましょう▼市議会で正副議長に中央大学学員会川崎支部の会員がそろって就任したことは喜ばしい事です(事務局長・岩渕義昭)

中央大学「川崎支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します(卒年順に掲載)

ミライにススム会

日本の縮図・国際都市川崎

会長 菅原 進(昭和48年卒)
川崎市多摩区登戸3095

城南予備校

(川崎市駅前本町22-2)

代表取締役 下村 勝己
(昭和52年卒)

株式会社TRAアート

代表取締役茂岡幹弥

(昭和53年卒)

東京都中央区新川2-7-15林ビル4F

田賀法律事務所

所長弁護士小林喜浩

(昭和59年卒)

東京都中央区銀座7-2-22同和ビル

道しるべ法律事務所

弁護士矢口統一(平成7年卒)

川崎市川崎区砂子1-5-1KJ砂子ビル4階

Tel.044-211-1115/moto.yaguchi@gmail.com

行政書士 志水法務事務所

志水 晋介(平成11年卒)

渋谷区渋谷2丁目2-4

青山アルコーブ411